

子宮内膜異型増殖症・子宮体癌に対する

メトホルミンの 医師主導治験のお知らせ

治験とは・・・病気の治療には多くの薬が使われています。

新しい薬が世の中に出て広く使用されるためには、

効果と安全性を何段階にもわたり確認することが必要です。

人に対して薬を使い、効果と安全性を確認する臨床試験を「治験」といいます。

本院では、現在「メトホルミン」という薬の効果や安全性を確かめるための治験に参加いただける患者さんを募集しています。

主な 参加基準

- ・ 子宮内膜異型増殖症・子宮体癌と診断され、子宮温存が可能な方
 - ・ 18歳から42歳の方
 - ・ 治験で使用する薬の服薬が問題ないとされた方
- ※詳しい基準は担当医師にお問い合わせください。

現在、子宮内膜異型増殖症、子宮体癌の患者さんの子宮温存のために通常行われるメドロキシプロゲステロン(MPA)療法は、いったん癌が消失しても30%~50%の割合で再発するため、十分な治療法とはいえません。

本治験では、メトホルミンとMPAを組み合わせた新しい治療法において再発を抑えられるか確認するとともに、適切な用量を検討し、長期の効果と安全性を確認することを目的としています。

治験の内容や治験実施医療機関はHPから確認することができます。

治験HP：https://www.ho.chiba-u.ac.jp/crc/felicia_trial-pc/index.html



本院のお問い合わせ窓口

実施診療科：婦人科

治験責任医師：渡利 英道

【問合せ先】

北海道大学病院 臨床研究開発センター

電話番号：011-706-7600

受付時間：（平日）8：30～17：00